

令和4年度防災訓練のまとめ

- ①瀬戸市総合防災訓練への取組み結果
- ②新郷連区防災訓練の概要

新郷連区自治会長 青山 和宏

① 瀬戸市総合防災訓練への新郷連区の取組み結果

・安否確認訓練

	世帯数	集合場所への集合戸数		安否札の掲出戸数	
新郷連区計 (昨年度実績)	1,982 戸	833 戸	42.0%	1,011 戸	51.0% ↑
	2,053	801	39.0%	887	43.2%
幡野町	567	257	45.3%	299	52.7% ↑
	566	224	39.6%	240	42.4%
新郷町	203	78	38.4%	97	47.8% ---
	209	80	38.3%	102	48.8%
赤重町	449	171	38.1%	210	46.8% ↑
	500	159	31.8%	211	42.2%
白山町	425	200	47.1%	212	49.9% ↑
	439	194	44.2%	174	39.6%
緑 町	170	109	64.1%	122	71.8% ↑
	171	110	64.3%	117	68.4%
瀬戸口住宅	168	18	10.7%	71	42.3% ↑
	168	34	20.2%	43	25.6%

- ・各町組長会議に出向いての説明を、今年度から9月、10月の2回に増やして徹底を図った。
(従来は安否確認札・防災マップの説明や所持確認に時間を要し、訓練の趣旨・内容の十分な説明ができていなかった。)
- ・各戸への理解浸透のため、訓練日のスケジュールのほか、裏面に訓練の趣旨を詳しく示した独自の案内チラシ(次ページ参照)を作成・配布した。

① 瀬戸市総合防災訓練への新郷連区の取組み結果

全戸配布 新郷連区自治会

11月20日(日) 午前8時~実施

せと市民 総ぐるみ防災訓練 (瀬戸市総合防災訓練) について

大きな地震による災害に備えて、今年も瀬戸市の全住民参加による“せと市民総ぐるみ防災訓練”が行われます。みなさんご参加をお願いします。

【訓練の内容】

8:00

- ① 震度6弱の強い地震が発生。
各自その場で命を守る行動(シェイクアウト:下図)をとる



- ② 家族の安否と家屋の被害を把握した後、ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切る (訓練ではいずれも確認のみ可)



- ③ 安否札をドアノブ・扉など、外から見える場所に掲げる



8:15 《時間は目安》

- ④ 代表者1名が、必ずマスクを着用して組集合場所に出向き、家族等の安否を報告する



※病気や高齢、脚が不自由などのため集合場所までの移動が困難な方は、集合場所まで行っていただく必要はありません。

※組集合場所は各町の防災マップに記載されています。
不明な場合は事前に組長さんやご近所の方に確認しておいてください。

←表面

裏面
→

【参考】防災訓練について

まず、自分の命を守る！

1 シェイクアウト
地震発生時は速やかに「シェイクアウト」を行い命を守る行動をとる。

2 二次災害の回避
地震発生時は、落下物や倒壊の恐れがある場所から避難し、安全な場所へ移動する。

3 安否札の掲示
地震発生時は、速やかに安否札を掲示し、家族の安全を確認する。

4 ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切る

5 避難経路を確認する

瀬戸市の防災訓練は、2019年(令和元年)からそれまでの消防や自衛隊も参加する大がかりなイベント的なものから、市民・地域主体の、実際に災害が起きたときに役に立つことをめざす実践的な内容になりました。

具体的には、瀬戸市のほとんどの地域で震度5強から6弱の揺れが予測されている南海トラフ地震が発生したと想定し、左の図のように

- ・まず自分の命を守ること
- ・火事などの二次災害を防ぐこと
- ・家族や近所の人と協力し被害の広がりを防ぐこと

を目的とする訓練で、すべて住民の皆さんの参加を呼びかけています。

シェイクアウトは上から落ちたり横から倒れてくるものから頭を守るための訓練、ガスの元栓を締め、電気のブレーカーを切る訓練は、阪神淡路大震災で停電から復旧した時にストーブ等からの火災(通電火災)が多く起きたことの教訓を生かそうという取組みです。

ところで、玄関などに「安否札」を掲げ、さらに組集合場所集まって組長さんに家族の安否を報告する訓練の目的は何か、ご存じでしょうか？

組集合場所に集まらなかった人を探して、必要な「次の行動」に結びつけるため。

安否札なし！
反応もなし！

地震は事前の警報なしに突然起こります。このため、被災した時に家に誰がいて無事だったかどうかなどは、実際に一軒一軒調べて回らないとわかりません。

そこで被災しても無事だった人には家に安否札を掲げて集合場所に集まってもらい、そこに来なかった家には組長さんや近所の方で行って確認することによって、安否確認を効率よく行う体制づくりをしておこうというのが訓練の目的です。

こうした取組みを徹底できれば、右の図のようにその後の対応もスムーズになり、被害をより小さくすることもつながります。

新郷連区防災訓練

自治会と新郷地域力推進協議会では、地域の防災力向上のため独自の防災訓練を実施しています。今年はその訓練と同じ11月20日(日)に新型コロナ感染症対策を行った上で「せとの家」に各町内から約100人の方に集まっていただき、煙燻体験、初期消火、応急手当、担架搬送、AEDによる救命救命の訓練と「瀬戸・新郷の防災2022」のビデオ視聴を予定しています。



→ 箇前組内回覧用

回覧

11月20日(日) 8時

全市民参加の防災訓練があります。 ご参加ください！！

10月にお配りしたチラシです

全戸配布 新郷連区自治会

11月20日(日) 午前8時~実施

せと市民 総ぐるみ防災訓練 (瀬戸市総合防災訓練) について

大きな地震による災害に備えて、今年も瀬戸市の全住民参加による“せと市民総ぐるみ防災訓練”が行われます。みなさんご参加をお願いします。

【訓練の内容】

8:00

① 震度6弱の強い地震が発生。
各自その場で命を守る行動(シェイクアウト:下図)をとる

② 家族の安否と家屋の被害を把握した後、ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切る (訓練ではいずれも確認のみ可)

③ 安否札をドアノブ・扉など、外から見える場所に掲げる

8:15 《時間は目安》

④ 代表者1名が、必ずマスクを着用して組集合場所に出向き、家族等の安否を報告する

※病気や高齢、脚が不自由などのため集合場所までの移動が困難な方は、集合場所まで行っていただく必要はありません。

組集合場所は [] です

→ 漢語版

→ ルルトガル語版

For all residents
On Sunday, November 20th from 8:00 am

The Shingo-riku Residents' association

The Seto Citizens Disaster Prevention Drill

In preparation for disasters caused by large earthquakes, the Seto Citizens Disaster Prevention Drill will be held. Please join us.

【Contents】

8:00

① A strong earthquake occurred. (Seismic intensity of 6-lower)
Take actions to protect lives on the spot. (Observe: below)

② After ascertaining the safety of the family and the damage to the house, turn off the main gas valve and turn off the electric breaker. (In training, it is okay to check only.)

③ Attach safety confirmation tags to places that can be seen from the outside, such as doorknobs and gates.

8:15

④ One representative wear a mask, will go to the group meeting place and report the safety of the family etc.

※ If you do not know where the group will meet, please check with the group leader or neighbors in advance.

Para todos os moradores
No domingo, 20 de novembro, a partir das 8h

A associação de moradores de Shingo-riku

Treino de Prevenção de Desastres Seto Cidadãos

Em preparação para desastres causados por grandes terremotos, será realizado o treinamento de Prevenção de Desastres Seto Cidadãos. Por favor, junte-se a nós.

【Conteúdo】

8:00

① Ocorreu um forte terremoto. (Intensidade Sísmica 6 fraco)
Tome ações para proteger vidas no local. (Observe: Abaixo de)

② Depois de verificar a segurança da família e os danos à casa, desligue a válvula principal de gás e desligue o disjuntor elétrico. (No treinamento, não há problema em verificar apenas.)

③ Anexar tags de confirmação de segurança em locais que possam ser vistos de fora, como maçanetas e portões.

8:15

④ Um representante que usa uma máscara, irá ao local de reunião do grupo e informará a segurança da família etc.

※ Se você não sabe onde o grupo se reunirá, por favor, verifique com o líder do grupo ou vizinhos com antecedência.

(参考)

案内チラシは活字にユニバーサルフォントを使用し
高齢者等にも読み易いように配慮した。

(BIZ UDゴシック)

① 瀬戸市総合防災訓練への新郷連区の取組み結果

・避難行動要支援者の避難行動支援訓練

新郷連区防災訓練の参加者の中から、車椅子での避難者1名とサポート員(1名)を1組設定し、訓練会場(新郷地域交流センター)までの避難行動支援訓練を行なった。
今年度は赤重町内会に依頼して実施した。(各町の輪番制)

・避難所開設・運営訓練

総合防災訓練当日には新郷地域防災訓練を実施しているため、新郷地域交流センターには避難所開設訓練を行うスペースがない。

このため、新郷連区防災訓練の参加者受付で、震災後に各町内から避難者を交流センターに受入れる想定で、避難者の感染症対策を含む受付の実務訓練を行なった。

具体的には、

- ①避難者(訓練参加者)の手指を消毒液で消毒し、体温を検温器で測定する
- ②各町の「防災訓練参加者名簿」に併記された、仮定の「避難者一覧表」の提出と口頭報告を受け、避難者の人数、避難所での要配慮者* の人数を把握する

* 後期高齢者、妊産婦、乳幼児、障害者、要介護者、日本語コミュニケーションの苦手な人等

- ③集計結果を自治会長(防災訓練本部長)に報告する

ことにより実施した。

②新郷連区防災訓練

・訓練の目的

- (1)参加者に地域の具体的な災害リスクを伝え、地域の防災に関心を持ってもらう
- (2) 訓練の運営を通じて、スタッフ(防火・防災委員、防災リーダー)に防災の知識・技能を深めてもらい、地域防災の担い手を増やしていく

・参加者135名(含 スタッフ・役員 49名) (目標146名(含 スタッフ・役員 46名))

※当初は200名規模で計画。新型コロナ(BA.5)感染防止対策のさらなる徹底のため規模・内容を縮小した。

・訓練内容

- ①「瀬戸・新郷の防災 2022」レクチャー動画視聴
- ②「煙道体験訓練」「初期消火訓練」 (屋外)
- ③「応急手当訓練」「担架搬送訓練」
- ④「AED(救急救命)訓練」
- ⑤「非常食炊き出し訓練」 (雨天予報のため、実施場所を屋外テントから屋内調理室に変更)

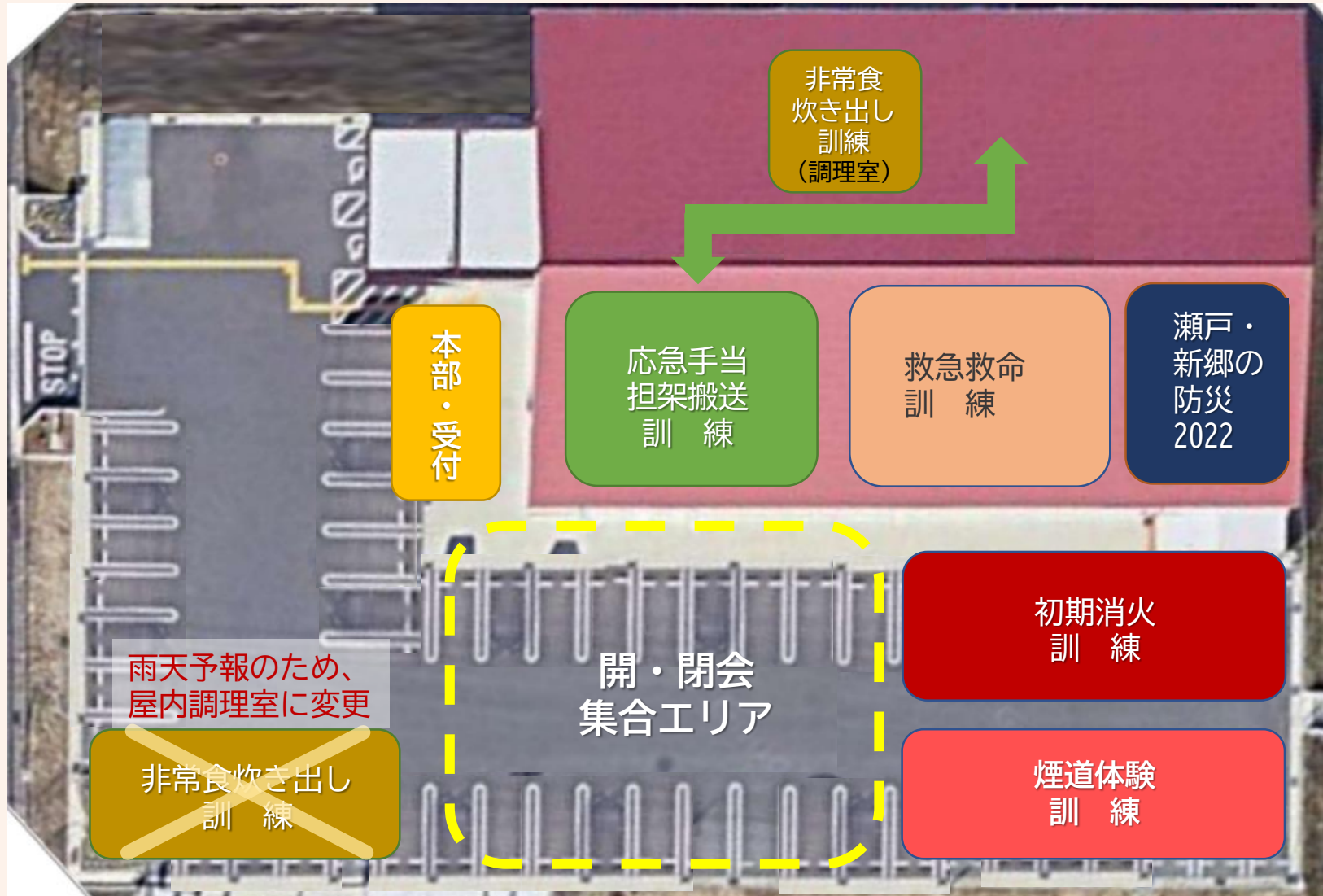
※ オリジナルのレクチャー動画(24分)を自主作成した。

※ 各訓練はスタッフ(防火・防災委員、防災リーダー)が主たる指導役を担い、参加者向けの説明用フリップ等を作成・使用して運営した。

※ 準備のため、各訓練の「作業手順書」を作成したほか、消防関係者の協力のもと、スタッフ向けのAED講習、初期消火・応急手当の訓練を行なった。

②新郷連区防災訓練

- 実施した訓練とレイアウト (11月20日(日) 9時30分~12時)



②新郷連区防災訓練

開会



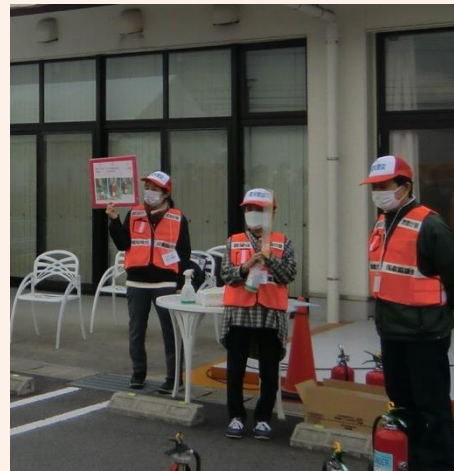
瀬戸西高校校長挨拶



煙道体験



初期消火



応急手当（実演見学のみ）



担架搬送



AED(救急救命)



AED(救急救命) (体験は胸骨圧迫まで)



レクチャー動画(瀬戸・新郷の防災 2022) 視聴



非常食炊出し



防災情報リンク集

瀬戸・新郷の防災 2022

防災訓練への参加、ありがとうございます。
「瀬戸・新郷の防災2022」で撮影した主なイベントのリンク集を作成しました。
お家や学校などからでも気軽に、ぜひ活用してください。

災害庁 災害対策センター	QRコード	(スマートフォン PCでも閲覧可能です)
中核広域 「瀬戸・新郷」の「オーパス」 (名古屋大学防災連携研究センター)	QRコード	(スマートフォン PCでも閲覧可能です)
NHK 報道まもるナビ	QRコード	(スマホ専用)
豊田放送 災害の子とママのチェックリスト	QRコード	(スマホ専用)
瀬戸市 防災情報	QRコード	(スマホ専用)
瀬戸市 防災地区カド・防災ガイドマップ	QRコード	(スマホ専用)
Yahoo! 防災情報アプリ ダウンロード	QRコード	
NHK ニュース 防災アプリ ダウンロード	QRコード (iPhone)	QRコード (Android)

※あなたも新郷地区の防災活動に参加してみませんか?
新郷地区防災連絡会 防災委員会グループは、自治会と連携して、住民みなさんの安心・確かな暮らしを、地域に広げたいと考えています。
防災活動に興味がある方は、ぜひお申し込みください。お申し込み先は、新郷地区防災連絡会グループです。
※詳しくは 防災委員会グループ 事務局 (090-4215-4286)までお問い合わせください。

講評（瀬戸市消防本部 坪井消防司令）



後片付け(危機管理課広瀬様山内様も最後までご協力いただいた)



(今後の予定)

訓練参加者、町内会役員・組長、訓練スタッフ(防火・防災委員、防災リーダー等)を対象にアンケートを実施中。
2月をめどに結果を取りまとめ、次年度以降の活動の参考にして行く。